

週間漁海況情報—第17号

平成24年5月1日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

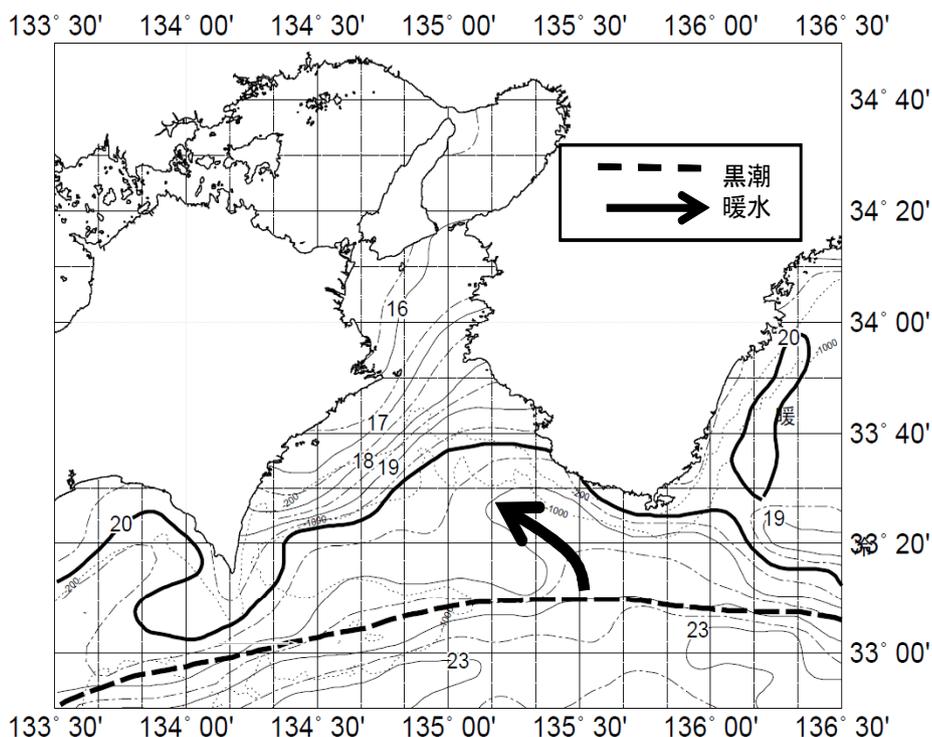
1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H24.5.1）を示した。

黒潮は、室戸岬沖で接岸、潮岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、21～23℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で12～14℃台、紀伊水道で15～17℃台、海部沿岸で16～17℃台である。

海部沿岸では、内海系水の南下がみられ、17℃以下の内海系水に覆われている。紀伊水道外域では和歌山県沿岸からゆるやかな反時計回りの暖水流入がある。



紀伊水道海区観測結果

観測日		水 温					塩 分				
		表層	10m	20m	30m	50m	表層	10m	20m	30m	50m
4/18, 20, 24	今年値	14.1	13.6	14.0	14.5	16.1	32.3	32.6	32.9	33.2	34.2
	平年偏差	0.7	0.4	0.2	0.5	1.7	-0.8	-0.8	-0.8	-0.6	0.1
	前年偏差	-0.4	-0.5	-1.1	-0.4	0.9	-1.4	-1.1	-1.1	-0.8	0.0

漁業調査船「とくしま」で4月18、20及び24日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、水温で「やや高め」の14.1℃、10m層及び20m層で「平年並み」の13.6～14.0℃、30m層で「やや高め」の14.5℃、50m層で「高め」の16.1℃であった。

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区で「平年並み」の12.9～13.8℃、日和佐地区で「やや低め」の15.8～16.8℃、牟岐地区は「やや低め」の15.7～16.6℃で推移した。

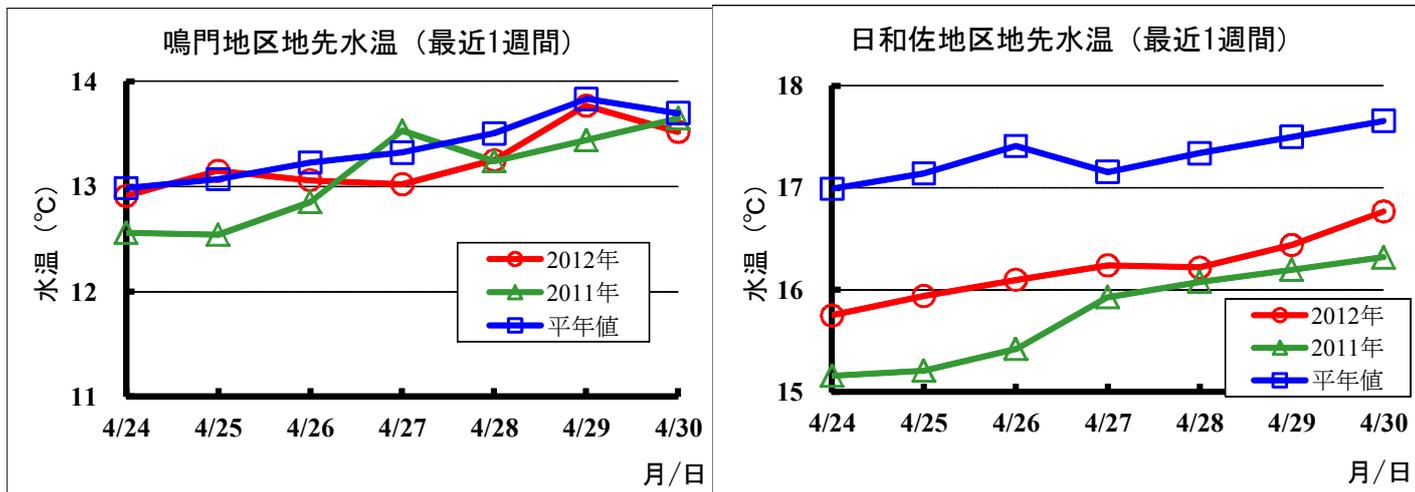
（図は次ページに掲載）

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」～「接岸」、潮岬沖で「やや離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」の13～14℃台、日和佐地先は「やや低め」の16～17℃台で推移する見込み。

* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上



2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸でアカムツが0.2トン（1日1隻当たり40kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、キビナゴが0.4トン（同10kg）、サバ類が小小主体に2.1トン（同262kg）、マイワシが0.2トン（同37kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、中・小主体にイシダイが0.3トン（同57kg）、小主体にカワハギが0.3トン（同57kg）、中主体にクロダイが0.3トン（同57kg）、サバ類が小小主体に2.2トン（同367kg）、ブリが12.2トン（同2,033kg）、メジロが1.1トン（同188kg）特大主体にマアジが0.8トン（同136kg）、小・中主体にマダイが0.3トン（同53kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、中主体にカツオが1.9トン（同42kg）、シイラが0.2トン（同13kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラスが63.6トン（同543kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 4月23日～4月29日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	5	200	40	中・小主体
小型定置網		キビナゴ	41	428	10	
		サバ類	8	2,093	262	小小主体
		マイワシ	6	221	37	
		イシダイ	6	339	57	中・小主体
大型定置網		カワハギ	6	341	57	小主体
		クロダイ	6	344	57	中主体
		サバ類	6	2,200	367	小小主体
		ブリ	6	12,195	2,033	
		メジロ	6	1,127	188	
		マアジ	6	818	136	特大主体
		マダイ	6	316	53	小・中主体
		釣り	カツオ	46	1,928	42
パッチ網		紀伊水道	シイラ	19	248	13
	シラス		117	63,575	543	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年4月25～5月1日の海部沿岸では、小型定置網でアオリイカが0.6トン、小小主体でゴマサバ主体のサバ類が1.7トン、小主体にマアジが12.0トン、マイワシが3.8トン、大型定置網で大主体にアオリイカが0.7トン、イワシ類が6.9トン、中主体にクロダイが0.4トン、中主体にハマチが1.5トン、特大・大主体にマアジが1.7トン、中主体にマダイが0.2トン、釣りで小主体にマサバが0.2トン、中主体にマルアジが0.3トン、メジロが0.5トン、紀伊水道では、釣りで大主体にタチウオが0.3トン水揚げされた。